

- 問1 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 吉野ヶ里遺跡

2. 登呂遺跡

3. 三内丸山遺跡

4. 岩宿遺跡
- 問2 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)

1. 登呂遺跡

2. 三内丸山遺跡

3. 岩宿遺跡

4. 吉野ヶ里遺跡
- 問3 山形県舟形町で出土し、高さが約45cmあり国宝にも指定されている「縄文の女神」について述べた文として、歴史的な事実に基づいた正しい説明を選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 弥生時代の遺跡から発見された青銅器であり、大陸との交流を示す資料である。

2. 飛鳥時代に大陸から伝わった仏教の影響を受けて作られた、初期の仏像である。

3. 古墳の周囲に並べられた埴輪の一種であり、武人や馬の形をしたものが多い。

4. 縄文時代中期に作られた土偶であり、当時の人々の信仰や祈りの対象であった。
- 問4 石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。

2. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。

3. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。

4. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。
- 問5 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 環濠集落

2. 高床倉庫

3. 貝塚

4. 古墳
- 問6 縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)

1. 竪穴住居

2. 書院造

3. 高床倉庫

4. 寝殿造
- 問7 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 中央集権社会

2. 持続可能な社会

3. 高度情報化社会

4. 多文化共生社会
- 問8 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。

2. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。

3. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。

4. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。
- 問9 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拜むために精巧に作られた。

2. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。

3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。

4. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。
- 問10 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 縄文時代

2. 弥生時代

3. 旧石器時代

4. 古墳時代
- 問11 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した

2. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった

3. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった

4. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった
- 問12 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式の道具として用いられた。

2. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。

3. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。

4. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。
- 問13 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため

2. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため

3. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため

4. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため